

今回世界記録を出したキメット選手は多くのマラソン選手を輩出しているリフトバレー出身で、家が貧しく14歳で中学を中退して農業に従事していたが、20代半ばでベルリン、ボストン、ニューヨークシティで優勝経験のあるジェフリー・ムタイ選手の練習グループに加わり、13年の東京マラソンの優勝等、4回目のマラソンで2分台の快挙である。

今年で41回を数えるベルリンマラ

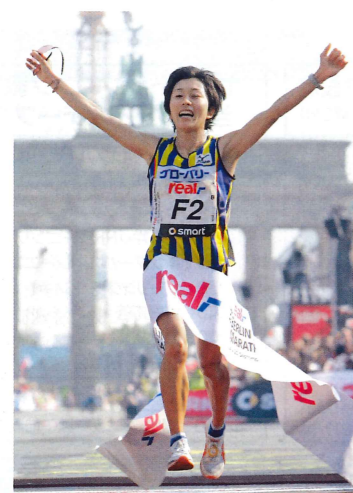
その後、03年にはポール・テルガト選手（ケニア）が2時間4分55秒で、07年、08年と連続してハイレ・ゲブレセラシエ選手（エチオピア）が2時間4分26秒、そして2時間3分59秒と、いよいよ3分台に突入した。11年にはパトリック・マカウ選手（ケニア）が2時間3分38秒、そして昨年は前述のキプサング選手、そして今年キメット選手が2分台への一番乗りを果たした。つまりベルリンマラソンでは16年間

日本選手の歴代記録を見ても多くの記録がベルリンマラソンで樹立されている。男子歴代3位の犬伏孝行選手は99年に2時間6分57秒の日本新記録を13年ぶりに更新、女子歴代1位の野口みずき選手は05年に2時間19分12秒という日本新記録樹立で優勝、2位の渋井陽子選手は04年に2時間19分41秒で優勝し日本記録を塗り替えた。「速いベルリン」の理由は、

1. 高低差の少ない平坦なコース

「速いベルリン」のブランディングと差別化戦略

ソンのであるが、男子の世界新記録樹立の歴史を振り返ると、98年にブラジルのロナウド・ダ・コスタ選手が人類史上初めて時速20km以上の速度で、10年ぶりに2時間6分5秒で新記録を樹立したことに遡る。



日本の女子歴代記録で2時間20分を切った3つの記録もすべてベルリンで達成された。写真/AP/アフロ

で7つの男子マラソン世界新記録が誕生したことになる。

別な見方をすると歴代男子マラソンの上位10位のリストを見ると、上位7位の記録がベルリンマラソンで達成されている。残りはドバイマラソンで1名、ロッテルダムマラソンで2名が記録を樹立しているに過ぎない。

女子マラソンに目を転じて、77年オランダのファーレンジーク選手、99年ローペ選手、そして高橋尚子選手が初めてベルリンマラソンで2時間19分46秒と20分の壁を破り、歴史に残る世界新記録を達成した。

男子と同様に女子マラソン歴代10位のリストから、達成したレースを見ると、ロンドンが3、ベルリン、シカゴ、ドバイが各2、ロッテルダムが1という構成であるが、上位5位にはベルリンで達成された記録はない。女子マラソンは世界記録達成から少し遠のいてはいるが、16年間で男女世界新記録を10回樹立しているマラソン大会は他にはない。

2. 理想的な気象条件

3. 主催者のスピードマラソンに対する経験と実績。それに基づく優秀なペースメーカーの配置

4. 多少経済的な報酬は低くとも、良い成績をベルリンで残すことで将来の自分の市場価値を上げるという選手のモチベーションが挙げられる。

「速いベルリン」というレース自体のブランディングを達成するため、主催者は様々な工夫をしている。例えばキロ表示を1km毎に、また先導車にはその時点のペースでの予測フィニッシュタイムを掲示し、選手の記録達成の一助としている。

ベルリンマラソンは「速い（記録の出る）マラソン」として、特に世界のエリート選手に定着している。そして今回の2分台への突入は、その評価をさらに加速させた。

「人類はいつ2時間の壁を破るのか」という歴史的な記録誕生の期待とともに、ベルリンマラソンのマーケティング価値は益々高まっている。



2時間2分57秒の世界新記録。
人類は遂に2分台へ到達！



第41回 ベルリンマラソン

男子	
1	デニス・キメット(ケニア) 2:02:57
2	エマニュエル・ムタイ(ケニア) 2:03:13
3	アベラ・クマ(エチオピア) 2:05:56
10	外丸和輝(トヨタ自動車) 2:11:25
女子	
1	ティルフィ・ツェガエ(エチオピア) 2:20:18
2	フェイセ・タデッセ(エチオピア) 2:20:27
3	シャレン・フラナガン(アメリカ) 2:21:14
6	福士加代子(ワコール) 2:26:25

9月28日に開催された第41回ベルリンマラソンで、デニス・キメット（ケニア）が昨年同大会でウィルソン・キプサング（ケニア）が樹立した2時間3分23秒を26秒縮め、2時間2分57秒の世界新記録を達成。中間点までを1時間1分45秒（キロ2分55秒6）、後半を1時間1分12秒（キロ2分54秒）のネガティブスプリットで駆け抜け、「3分の壁」を初めて越えた。2位のエマニュエル・ムタイ（ケニア）も従来の記録を上回る2時間3分13秒で2位。女子はティルフィ・ツェガエ（エチオピア）が2時間20分18秒で優勝した。

写真/大会事務局

ささい・ゆたか●日本陸連国際委員会委員。帖佐寛章AIMS名誉会長の秘書役を務め、30年以上も世界各国のマラソンを現場で見てきた。